

令和3年度 伊勢原市清掃美化審議会 会議録

〔事務局〕 経済環境部環境美化センター

〔開催日時〕 令和4年1月28日（金）午後1時30分～午後3時30分

〔開催場所〕 市民文化会館 展示室

〔出席した委員〕 12名

勝 田 悟
清 水 孝 一
武 蔵 郁 夫
秋 山 哲 也
井 上 節 子
宮 崎 清
笠 原 浩
二 宮 真 一
安 藤 十 藏
今 井 重 道
福 田 まさみ
櫻 井 志 保

〔事務局〕

石 田 康 弘（経済環境部長）
大 町 徹（環境美化センター所長）
秋 山 喜 則（環境美化センター収集業務係長）
曲 本 浩 一（環境美化センター資源循環係長）
田 中 和 義（環境美化センター収集業務係主査）
横 山 亜紀子（環境美化センター資源循環主査）

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 0名

〔経過〕 次のとおり

1 開会

2 あいさつ

○事務局より、過半数の出席により、審議会が成立する旨を報告。また、本審議会が公開審議であること、個人情報取り扱いについて説明した後、審議会配付資料の確認をする。

3 議事

【会長】議題（1）伊勢原市ごみ処理基本計画（案）の修正点について事務局に説明を求める。

【事務局】資料に沿って、文章や図、表の修正や削除及び追加について説明を行う。

【会長】議題（1）伊勢原市ごみ処理基本計画（案）の修正点について、委員の皆様から意見を求める。

- 【委員】ドギーバッグという表現があるが、人間が持ち帰るということであれば「お持ち帰り容器」などといった表現の方が適切ではないか。(37ページ)
- 【委員】アメリカに住んでいたことがあるが、アメリカでもドギーバッグとは、人間のために持ち帰るが、恥じらいもあり、犬のためのドギーバッグという言い方をしている。計画上であえて一般的でもないドギーバッグという言葉を使う必要はないのではないかと感じる。
- 【事務局】「ドギーバッグ」という言葉が一般的かどうかも含めて表現の仕方を検討する。
- 【会長】注釈に番号を付けるなど、注釈があることを分かりやすくするのも方法。また、その他の注釈も体言止めになっていたり、そうではなかったりで、統一したほうがよいのでは。
- 【委員】近所で不法投棄があり困ったことがあった。不法投棄パトロールでの不法投棄禁止看板の設置や監視カメラの貸し出しというのは今後の話か？それとも、現在も実施されているのか？(57ページ)
- 【事務局】衛生委員を中心に不法投棄パトロールが実施されており、実際に看板の設置や監視カメラの設置が行われている。監視カメラについては貸し出しとなる。まずは、衛生委員に相談してもらいたい。
- 【委員】フードドライブについて、どこへ持っていけばよいのか分からない。(41ページ)
- 【事務局】イベントなどでやっているが、コロナ禍の影響で最近はなかなか実施されていない。民間では、中栄信用金庫や平塚信用金庫で実施している。市の広報やホームページで確認できる。コロナの感染拡大が収まったら、全庁的に周知を図り、市が主催するどのイベントでもフードドライブの窓口があるようにするのが理想である。
- 【会長】フードドライブ自体を知らない市民もいっぱいいると思うので、更なる周知啓発や、どこで実施しているかなど情報を得る手段も分かりやすくする必要がある。有価物を廃棄物にさせないことが必要である。
- 【事務局】事業系のごみが増えているということだが、事業系の段ボールを資源に回すのは間違いなのか？
- 【事務局】段ボールを資源にするのは間違いではないが、事業系ごみの段ボールを家庭ごみ用の集積所へ出すことはできないので、事業者の責務において資源として処理していただく必要がある。事業者用の手引きがあるので必要であれば配布させていただきます。
- 【委員】「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が今年の4月から施行するということだが、計画に位置付ける必要があるのでは？
- 【事務局】国からの方針が示されず、今後の動きが見えていない状況である。今後、具体的に決めていきたいと思うが、20ページに「プラスチック資源循環促進法」に関する処理体制上の課題や47ページに、その課題に対する取組について表記しており、課題解決に向け具体的に取組んでいきたい。

【会長】法律が昨年制定され、今年施行というのは、市町村にとっては厳しい。あいまいな部分も多く企業、特にコンビニエンスストアなども困っている。コロナ禍で感染防止のためにはプラスチック製品を使いたいという矛盾もある。計画の中では「検討していく」ということではなく「適宜対応していく」という表現にした方がよい。

【委員】中間目標年度（４ページ）にはどのような意味があるのか？

【事務局】３１ページに中間目標の数値目標があり、最終目標を達成するために、令和８年度を中間目標年度とし、目標数値を定めている。

【会長】３１ページに中間目標年度の数値目標を定めているということが分かるように注釈をつけるなども必要である。

【委員】資料として配布された統計資料で、可燃ごみのように減らしたほうがよいものと、草木類のように増えたほうがよいものを一緒にした表は見づらいのではないか。

【事務局】数字を紹介したく内部資料をそのまま出したものである。今後、配布する場合には見せ方を検討させていただく。

【委員】３Ｒとは何の略か？

【事務局】① Reduce（リデュース）ごみを減らす、ごみを出さないこと
② Reuse（リユース）くり返し使うこと
③ Recycle（リサイクル）原材料に戻して使うこと
の頭文字をとって３Ｒという。

【委員】３キリとは？

【事務局】生ごみを減らす３キリで
①食材の使いキリ
②おいしく食べキリ
③生ごみの水キリ のことを言う。

【会長】用語集に入れた方がよい。

【会長】議題（２）伊勢原市ごみ処理基本計画（案）及び伊勢原市生活排水処理基本計画（案）のパブリックコメントの実施結果について事務局に説明を求める。

【事務局】資料に沿って、パブリックコメントの実施結果について説明した。提出意見はなかった。

【会長】提出意見がなかったということなので、特段、議題（２）について、委員からのご意見はないと思うが、パブリックコメントで提出意見がないことはよくあることである。本審議会では、さまざまな意見が委員の皆様から出されている。計画の策定に当たり本日の意見をぜひ参考にしてほしい。

【会長】議題（３）答申について

【事務局】 答申（案）について事務局より説明を行った。

【会長】 議題（3）答申について、委員の皆様から意見を求める。

【会長】 それぞれの項目の後に（ ）で要約した内容があるが、読む方としては、最初に（ ）があった方が読みやすいと思う。

【事務局】 最初に（ ）を持っていく。

【委員】（3）に「生ごみ処理機器」とあり、キューロやコンポスターのことだと思うが、機器とはどういう意味か？

【事務局】 キューロやコンポスターなどの生ごみ処理容器と、家庭用の電動式生ごみ処理機を合わせて「生ごみ処理機器」と表記している。

【委員】 他では有料化が普通のように、ごみ袋が有料でないことをびっくりする人もいるが、計画期間中にごみを有料化する可能性はあるのか？

【事務局】 40ページにあるように、1施設体制へ移行するために必要なごみの削減をするための有料化については、家庭ごみの減量が順調に進んでいることから検討を見送ることとした。ただし、今後の情勢の変化等により、改めて有料化に向けた検討が必要となることも可能性としては0ではない。

【事務局】 現在は、少量の事業系ごみについては、やむを得ない理由がある場合、集積所に出しているが、コロナ禍が収まったら、事業系ごみの有料化についても検討する必要が出てくるかもしれない。3、4年前に商工会に話をした経過もある。ごみ袋の配布について「手数料」を商店会が得られるような仕組みも考えられる。そういう場合には、商店会などとも相談させていただく。

【会長】 神奈川県は、順調にごみの削減を図ってきたので、ごみの有料化について大きな問題となっていなかったが、それも、そろそろ耐え切れなくなってきたということだろう。有料化を検討する場合には、レジ袋の有料化のように袋が2～3円で買えるようでは、効果が見込めない。効果があるよう、関係団体と相談しながら進めてもらいたい。広報いせはら11月1日号に「ごみ有料化を阻止するために」という見出しで、自治会の草木類の取組が紹介されている。根本的には有料化にならないようにごみの減量を図っていくことが施策として大事である。本日の委員の皆さんからいただいた意見を計画案に踏まえた形で答申させていただければと思う。

【会長】 議題（4）その他報告事項について発言を求める。

【事務局】 本日の報酬を口座に振り込みさせていただく。
本日いただいた意見を踏まえ答申を市長に提出させていただく。今年度中の策定を目指しており、計画がまとまったら皆様にも配布させていただく。

【会長】 これを持って議事を終了とさせていただく。